

求める会ニュー入 No. 953



2018年度の代表のご挨拶

大野 貞枝

今期も代表を務めさせていただくことになりました。2か月に一度交代する副代表が代表をサポートし、20人の部員が具体的に動き、会員の皆様のご意見を反映し運んでいきます。会員の皆様と共に「求める会」の活動方針を考えていきますので、ご都合がつく限り全体会へのご出席をお願い申し上げます。

2017年度は、皆様のご協力をいただきましたお陰で配送の日付や時間が変更になったものの、「あしの会」への配送委託はスムーズに移行できました。赤字は大幅に縮小、財政面では一息ついたというところです。ところで昨今、運送業界全体が大幅に値上げを実施しています。「求める会」の配送料は今のところ、このままでいいそうですが、「あしの会」の売り上げに協力し配送料の現状維持につなげたいところです。会員の皆様のお手元もしくはグループに、「あしの会」の「求める会」用カタログが配布されています。「求める会」が扱っていない食品のみを掲載したものです。必要なものがあれば購入いただきましたら、それが「求める会」の財政に協力していくことにつながります。ご協力をよろしく願いいたします。(カタログのお問い合わせは直接「あしの会」へ Tel 072-773-6121)

「あしの会」が会員に配布した2018年度の総会資料によりますと、事業計画には「地域の食の安全を目的としている他の団体を、当会の人材資材を活用して、継続発展できるようにサポートする。」という一項があります。現在は「求める会」以外に二つの提携の団体の配送業務を請け負っておられます。「求める会」が人材不足で、たとえば実務部門の活動が困難になった場合、



配送の他にその部門も委託すれば、「求める会」として共同購入の活動を継続していくことができることとなります。一昔前、兵庫県有機農業研究会で提携の生産者の配送をまとめて合理化しようとしたことがありましたが、各会の事情があり果たせませんでした。期せずして、「あしの会」が今それを担われているともいえます。

ご周知のように求める会は単に安全な食べ物を共同購入している団体ではありません。提携の生産者が作られた食べ物を付加価値がついた食べ物として扱うのではなく、消費者と生産者が交流しお互いに支えあう関係性を大事にする会です。食品の流通が工業製品の流通と変わらないものになっている現状は、心と体を作るつまりは命を支える食の本質を軽く見すぎています。求める会の今後の活動は、生産者をどのような形で支え続けていけるのかを考えていくことです。

このたび、日本有機農業研究会が取り組み始めました参加型保証制度 PGS は、その提携関係を大事にする制度です。有機 JAS を否定するものではありませんが、有機 JAS の認定を受ける費用や手間をかけられない生産者を、消費者がこの生産者は信頼できるので支えていきましょと推薦し、保証する制度です。専業主婦が少なくなり消費者の活動が困難になっている状況で、提携に代わるシステムとして考えられています。関西で具体的な活動が始まりますが、PGS を広げるためには、まずこの制度を理解していただく必要があります。TPP が導入され、どんな社会になるか見通せない世情ですので、命を守る活動として生産者の皆様と共に検討していきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

2018 年度総会報告



《 1 》日時 2018 年 5 月 19 日 (土) 10:30~14:00

《 2 》総会議事

1. 開会のことば 司会・岡和美 (西山町 G)

219 名中、出席 45 名、委任状提出 110 名、計 155 名で過半数により総会成立

2. 代表あいさつ 大野貞枝 (潮見 G)

3. 来賓紹介 一色富士夫さん、大谷純治さん、橋本慶子さん (以上市有研)、福原圧史・信子夫妻 (柿木村有機農業研究会)、京村真光さん

(牛肉生産者)、影山陽美さん (影山製油所)、高木力さん (米、大豆生産者)、池野創人さん (米生産者)、浄慶耕造さん (大徳醤油)、奥谷勉さん (あしの会)

4. 議長選出 推薦により、福井のぶみさん (逆瀬川 G) に決定

5. 議事

(一号議案) 2017 年度活動報告 (案) (総会資料 P. 1~6) 小浦節子 (副代表・鶴甲団地 G)

(二号議案) 2017 年度会計収支決算報告 (案)

・一般会計 ・特別会計 ・「福島の子供に安全な食べ物を送る会」会計
(以上、総会資料 P. 7~9) 吉川真喜子 (会計・青谷 G)

・「新企画活動」会計 (同 P. 9) 飛田みえ子 (鶴甲団地 G)

・共同購入会計 (同 P. 10~11、P. 13~14) 東山真紀子 (共同購入会計・松浜 G)

(三号議案) 会計監査報告 (同 P. 11) 六渡和香子 (東仲ノ町 G)

※一~三号議案は拍手で承認された。

(四号議案) 2018 年度世話人の承認 (同 P. 12)

2018 年度世話人の紹介 大野貞枝 (新代表) (*新世話人名簿はニュース別刷に掲載)

※四号議案は拍手で承認された。

(五号議案) 2018 年度活動計画案 (同 P. 15) 大野貞枝 (新代表)

(六号議案) 2018 年度一般会計収支予算案 (同 P. 16) 吉川真喜子 (会計)

※五、六号議案は拍手で承認された。 —議長退席—

6. 新代表あいさつ 大野貞枝

7. 事務報告および連絡事項 小浦節子 (副代表)

8. 閉会のことば 司会・岡和美

〈主な質問・意見〉・若い世代はネットで注文する時代。IT化は必須ではないか。→紙媒体と並行してやらなければならないと考えている (大野)。・端境期に、あしの会の野菜が入っていたが、求める会は地産地消が原則ではないのか。→野菜がないことを予測した結果、あしの会にお願いした。事情説明が行き届かなかったが、理解してもらいたい (小浦)。異常気象、気候変動の中で作物がいただけること、生産者のことを考えてほしい (影山)。

【午後の部 昼食&交流会】司会・近藤幸子 (逆瀬川 G)
久しぶりに世話人中心に会員手作りのちらし寿司、デザート、果物がテーブルに並び、たいへん好評でした。生産者の皆さんは、異常気象、増加する獣害、過疎の問題と向き合いながら、それぞれ努力、工夫されている取組みについて話されました。私たち消費者も、生産者の思いを受け取って、食べ物について、提携について、みんなで学習し、考えていきたいと思ひます。



食料環境セミナー報告

「測定から見える放射能汚染」

4月25日(水) 10:30~12:00

(阪神・市民放射能測定所)

代表 安東克明さん

被曝により傷ついた遺伝子の影響は未来の子供たちにも受け継がれてしまう。被曝を避けることは難しいが、無用の被曝を避けるためにできる事は何かと考え市民による測定所を2013年5月に開設し今まで測定を続けてきました。

放射能による健康被害としては日本での患者は100万人に1人の割合の子供の甲状腺がんが福島では100万人に500人の割合で発症。その他にも子供に限らず心筋梗塞の多発、死産・乳児死亡の増加、能力減退症(原爆投下のあと多発したブラブラ病と同じ症状)が多発しています。東日本の土を測ると放射能管理区域(レントゲン室等日常的に人が入ってはいけない、そこでは水も飲んではいけない)と同レベルの場所が千葉や東京にも多く存在しています。

内部被曝は食べ物にも依るが呼吸による内部被曝が大きく、この点から国が考えている8000Bq以下の廃棄物を焼却しその灰の埋め立て処分は、焼却することで放射能の汚染が拡散するので問題だと心配しています。

関西に流通している食品は検出されても5Bq以下がほとんどなので大丈夫だと考えるが、下限値はそれぞれの自治体や販売店で設定しているので「不検出」と表示されていても下限値が高い場合もあるので注意が必要。コープ自然派、グリーンコープは下限値が低め。

ウクライナでは20mSv(ミリシーベルト)地域は移住が義務で1~5mSvの地区住民は移住の権利があり、セシウムなどは毎日とりこむと心筋に影響があると言われる為、毎日食べる主食品の規制値は低く設定されています。

具体的な食べ物では果物は木が汚染されているため福島産のリンゴや桃などから数値はかなり下がっているがまだ検出される。野菜の汚染がほとんどないのは、畑の土が粘土質が多くセシウムは粘土質に付着して水に溶けにくくなり、作物への移行が減ると考えられるが、茨城県産のサツマイモ、蓮根については要注意。

魚は寿命が短いため事故前から生きているような大きな底魚以外現在ほとんど汚染はない。静岡のお茶は今でも検出されるが飲む状態になると葉の数値の1/50位になる。

汚染された衣類などは洗濯しても除去は難しい。

4年の実績から安全な食材の確保には地域の有機農家と連携し、放射能を測定することが大事だと結論を得、測定所はその手助けをしていきます。

詳しい情報については全国の市民測定所が情報交換している「みんなのデータサイト」で見られますし、測定結果まとめの冊子が事務室にありますのでご覧ください。

(松並 G 池田真知子)

次回食料環境セミナー

「放射能って何？」

5月23日(水) 10:30~12:00

食の安全と環境問題の元科学者

三原 翠さん

6月のカレンダー



- 6月13日（水）部会
 6月20日（水）全体会 自動引き落とし日
 共同購入申込締切日
 6月27日（水）食料環境セミナー
 6月30日（土）みんなの低温殺菌牛乳協会総会

6月全体会議題

- 1.総会をふりかえって
- 2.運送費維持のための「あしの会」への協力について(カタログ内容)
- 3.PGS(参加型保証システム)について

地域集会 初夏のつどい



地区	日時	会場	連絡先
芦屋・西宮・尼崎	6月28日（木） 10:00～12:00	ホテル竹園 1F マグネットカフェ JR 芦屋駅下車 北口 徒歩2分	東山
宝塚	7月10日（火） 10:00～12:00	宝塚教会会議室 阪急逆瀬川駅下車 北西500m	今田
中央・灘・東灘	7月4日（水） 10:00～12:00	神戸学生青年センター 阪急六甲駅下車 北東徒歩3分	飛田
兵庫・長田・北区	7月5日（木） 13:30～15:30	湊山地域福祉センター 神戸駅⑦バス石橋下車	明松
垂水・須磨・西区	6月29日（金） 13:00～15:00	レバンテ垂水2号館3F 会議室1 JR・山陽電鉄垂水駅下車 北東徒歩3分	高橋
明石・加古川・高砂	6月30日（土） 10:00～12:00	アスパア明石 702号室 JR・山陽電鉄明石駅下車 東南へ徒歩3分	村川

お知らせ

- ★牛肉 7月から配送日値上げのため1パックにつき20円値上げします。
- ★豚肉 火曜コース 6/19、木曜コース 6/7
金曜コース 6/15
- ★鶏肉 火曜コース 6/19、木曜コース 6/21
(鶴甲、鴨子ヶ原、松浜は除く)
金曜コースはありません
- ★牛乳 ステーションに保冷剤を必ず用意してください。
- ★果物 甘夏の追加注文受付ます。

食料環境セミナー

「放射能汚染から8年目へと向かう ～放射能を学び、福島を知る～」

「原発事故後を生きる私たち」
 6月27日（水）10:30～12:00
 いわきの初期被曝を追及するママの会
 代表 千葉 由美さん
 会場：神戸学生青年センターホール
 参加費：600円
 主催：(公財)神戸学生青年センター